

平成21年度 事業実績報告書

申請者の概要

| | | | |
|--|---------|--|------------------------|
| 申請者 | 団体名 | 泉南市商工会 | |
| | 代表者職・氏名 | 辻野 常彦 | |
| | 所在地 | 〒590-0521 大阪府泉南市樽井6-22-3 | |
| | 担当者 | 職・氏名 | 事務局長 松下 三郎 |
| | | 連絡先 | 電話番号（直通）： 072-483-6365 |
| F a x : 072-483-5321 | | | |
| | | E - m a i l : sennann@mb1.kisweb.ne.jp | |
| 設立年月日 職員数 （うち経営指導員数） 所管地域 管内事業所数 管内小規模事業者数 会員数（組織率） | | 昭和47年7月10日 5名（5名） 泉南市 2,321事業所（平成18年事業所統計による） 1,687事業所（平成18年事業所統計による） 1,162事業所（平成21年3月1日現在） | |
| 、、、につ いては直近の数字を記 載のこと | | | |
| 主な事業概要（定款記載事項等） | | | |
| (1) 商工業に関し、相談に応じ、又は指導を行うこと。 (2) 商工業に関する情報又は資料を収集し、及び提供すること。 (3) 商工業に関する調査研究を行うこと。 (4) 商工業に関する講習会又は講演会を開催すること。 (5) 展示会等を開催し、又はこれらの開催のあっせんを行うこと。 (6) 商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること。 (7) 商工会として意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。 (8) 行政庁等の諮問に応じて答申すること。 (9) 社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。 (10) 商工業者の委託を受けて、当該商工業者が行うべき事務（その従業員のための事務を含む）を 処理すること。 (11) 大阪府商工会連合会の委託を受けて商工貯蓄共済事業の業務を行うこと。 (12) 商工業者の福祉厚生に資する事業を行うこと。 (13) 行政庁から委託を受けた事務を行うこと。 (14) 外国人研修生の受け入れに関する事業を行うこと。 (15) 前各号に掲げるもののほか、その他商工会の目的を達成するために必要な事業を行うこと。 | | | |

各種データ

泉南市商工会

経営指導員の相談

| 業種別 | 相談区分 | 巡回相談 | | | | | | | | | | 相談対象企業数 | | |
|-------|------|------|------|----|----|----|-----|----|------|----|-----|---------|-----|-----------|
| | | 経営革新 | 経営一般 | IT | 金融 | 税務 | 労務 | 取引 | 環境対策 | 法律 | その他 | 計 | 社 | うち 会員数 |
| 製造業 | | 0 | 52 | 0 | 19 | 2 | 31 | 0 | 0 | 0 | 0 | 104 | 71 | 社 |
| 建設業 | | 0 | 12 | 0 | 9 | 13 | 23 | 0 | 0 | 0 | 1 | 58 | 39 | |
| 小売業 | | 0 | 99 | 0 | 35 | 11 | 23 | 0 | 0 | 0 | 0 | 168 | 116 | |
| 卸売業 | | 0 | 12 | 0 | 5 | 6 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 25 | 15 | |
| サービス業 | | 0 | 57 | 0 | 17 | 8 | 35 | 0 | 0 | 0 | 0 | 117 | 73 | |
| その他 | | 0 | 17 | 0 | 6 | 6 | 16 | 0 | 0 | 0 | 0 | 45 | 30 | |
| 小計 | | 0 | 249 | 0 | 91 | 46 | 130 | 0 | 0 | 0 | 1 | 517 | 344 | |
| 創業 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 合計 | | 0 | 249 | 0 | 91 | 46 | 130 | 0 | 0 | 0 | 1 | 517 | 344 | 342 |

その他の内訳

倒産防止共済

| 業種別 | 相談区分 | 窓口相談（通信、電話等によるものを含む） | | | | | | | | | | 相談対象企業数 | | |
|-------|------|----------------------|------|----|-----|----|-----|----|------|----|-----|---------|-----|-----------|
| | | 経営革新 | 経営一般 | IT | 金融 | 税務 | 労務 | 取引 | 環境対策 | 法律 | その他 | 計 | 社 | うち 会員数 |
| 製造業 | | 0 | 27 | 0 | 13 | 7 | 97 | 0 | 0 | 0 | 0 | 144 | 98 | 社 |
| 建設業 | | 0 | 18 | 0 | 26 | 13 | 112 | 0 | 0 | 0 | 1 | 170 | 118 | |
| 小売業 | | 0 | 42 | 1 | 26 | 24 | 72 | 2 | 0 | 0 | 0 | 167 | 114 | |
| 卸売業 | | 0 | 7 | 0 | 7 | 6 | 11 | 0 | 0 | 0 | 0 | 31 | 21 | |
| サービス業 | | 0 | 16 | 0 | 23 | 22 | 99 | 0 | 0 | 0 | 0 | 160 | 114 | |
| その他 | | 0 | 11 | 0 | 13 | 6 | 30 | 0 | 0 | 0 | 0 | 60 | 39 | |
| 小計 | | 0 | 121 | 1 | 108 | 78 | 421 | 2 | 0 | 0 | 1 | 732 | 504 | |
| 創業 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 合計 | | 0 | 121 | 1 | 108 | 78 | 421 | 2 | 0 | 0 | 1 | 732 | 504 | 503 |

その他の内訳

倒産防止共済

注) その他・・・デザイン、技術、事業継承、後継者問題、M&A、BCP（事業継承計画）、CSR（企業の社会的責任）など

注) 会員であるか非会員であるかは、相談した時点で区別すること

泉南市商工会

(1) 事業の目標

課題別経営相談支援事業においては、財務基盤の弱い事業所に対して、経営のサポートはもとより大阪府の制度融資や日本政策金融公庫等の融資の斡旋を行い、資金調達の多様化を図る。また、売上減少に悩む製造業に対しては、雇用維持のため、中小企業緊急雇用安定助成金等の制度説明を行う。一方、地域活性化事業においては、地域力連携拠点事業による専門家や大学・関連機関の協力を得て新商品や技術の開発に努め、ものづくり支援事業・全国展開支援事業などによる展示会や道の駅的施設「せんなんわくわく広場サザンびあ」での販売により売上の確保を目指し、地域経済の底上げを図る。

(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点

一般経営相談・情報提供事業 / 各事業所のニーズを十分に把握した上で、迅速かつ的確な回答が出来るよう職員の見識向上を強化し体制を整えた。特に巡回に力点を置いた活動を行い、経営環境の変化等にタイムリーに対応した。課題別相談支援事業 / 特に景気の低迷による売上減少から資金繰りが厳しい事業所が多く、各事業所の実態に合わせた返済に無理の無い融資金の供給を心掛けた。特にキャッシュフローが少なく返済原資が出てこない事業所については、事業計画書の作成等キャッシュフローの増大を図る為の経営指導を合わせて行った。専門人材等連携促進事業 / 未実施ながら、新たな雇入れに関するセミナー等を予定している。地域活性化事業 / 道の駅的施設「せんなんわくわく広場サザンびあ」を中心に集客力アップを目指し、イベントの実施により市内商業者等の売上増強機会の創出を図った。又、ものづくり支援事業では会場限度の28社の参加希望があり、今年度は広域化を図り岬町・熊取町から各1社が参加し、10社が新しく参加されることになった。全国展開支援事業については9月に農商工連携型支援事業に転換し、地域ブランド・観光ルートの開発に向け取り組み中である。又、当市の地場産業である繊維関連の製造業の経営不振について実態把握のため、9月よりアンケート調査を行い、今後の製造業活性化施策取り組みの指針としたい。

(3) 事業を実施した効果

一般経営相談・情報提供事業 / 巡回で事業所に出向く事での実態把握により、迅速かつ的確な支援を提供することが出来た。また、地域景況の把握にもつながった。課題別相談支援事業 / 金融支援では各事業所の実態に合わせた返済に無理の無い融資金の供給を行った結果、資金繰りの安定化を図ることが出来、各事業所が安心して商売に集中することが出来る体制作りに役立った。又、労務支援においては各種助成金の相談など、雇用の安定に役立った。地域活性化事業 / 各種販売イベントを実施した結果、参加事業所においては、今後も積極的に参加したいなど、「やる気」が感じられた。ものづくり支援事業については未実施ながら新たに10事業所が参加する事になった。尚、重点事業の全国展開支援事業は、農商工連携型支援事業に変更し9月より取り組んだところであるが関連機関や一部事業所等に説明したところ、本事業に対する期待は大きなものが伺えた。

(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題

一般経営相談・情報提供事業及び課題別相談支援事業 / 両事業に共通した課題として、小規模事業者の多くはここ数年徐々に経営内容が悪化しており、売上減少等業績悪化に対して何の方策も講じていない事業所が多いのが実情であり、本年度の相談においても急場しのぎ的な相談が多く、経営の改善には至っていないと思われ、根本的な対策が必要と思われる。地域活性化事業 / 各種イベントに参加する市内商業者は一部の事業所に限られており、参加者が広く行き渡っていない。又、イベント開催地として市内外からの来場者が多い「道の駅的施設ーサザンびあ」が中心となっているが、風が強くテントを張れない事が多い。今後の課題として、定期的に即売イベントを、雨天に影響されない場所で開催する必要がある。ものづくり支援事業（阪南市との共催）について、本年度で第二回目開催となるが、会場のキャパが28事業所で一杯であり、広域化を図ると場所の変更が問題になる。

(5) 来年度への取り組み

一般経営相談・情報提供事業 / 現在のところ市内会員事業所の全てを把握できているわけではなく、あまり利用していない会員事業所も散見される為、今後は利用頻度の低い会員事業所への巡回に力点を置いた活動を行っていく。課題別相談支援事業 / 次年度も、景気低迷に伴う業績悪化に対して対処出来る様、金融支援・記帳支援・法務支援・税務支援・労務支援等、様々な角度から経営に関するアドバイスを行っていく。経営相談会として、複数の専門相談員による相談会を企画したい。地域活性化事業 / 各種イベントへの参加に対して、各事業所の売上増強の機会であると同時に、地域活性化のためであることを理解してもらい、広く参加を呼びかけを行っていく。又、農商工連携型支援事業においてはより多くの事業所が参加できるよう取り組みたい。本年実施の製造業アンケート調査により、製造業の活性化対策に取り組むたい。

泉南市商工会

一般経営相談・情報提供事業

支援のポイント・成果

支援のポイント/市内小規模事業者等を中心に週二回の巡回体制で臨み、又電話での相談においては必要に応じて随時巡回に出向き、変化する経済環境にタイムリーに相談を受け、迅速な対応を行った。

成果/〔中小企業緊急雇用安定助成金〕については早期の情報提供をおこない、自社対応できない事業所については申請の手続き支援を行った。また、〔ものづくり製品開発等補助金〕については情報の取得から申請まで期間が短期であったが地域力連携拠点事業の支援を仰ぎ、3事業所ではあるが申請を行った(認定は1件のみ)。その他雇用保険関係の助成金の説明により10件の申請支援を行った。今後も早期の情報取得に努め、専門家や関係諸機関の協力を得、事業所の自立支援に努めてゆきたい。

| 事業名 | 指標 | 目標数値 | 実績数値 | 達成率 | 利用者満足度(点) | 事業評価 |
|------|------|-------|------|-------|-----------|------|
| 巡回相談 | 相談件数 | 900 | 517 | 57.4% | 95.0 | 5 |
| 窓口相談 | 相談件数 | 1,200 | 732 | 61.0% | 80.0 | 4 |

課題別経営相談支援事業

支援のポイント・成果

支援ポイント/金融危機の拡大により、中小零細企業は融資が受けにくい、国、府の融資制度の普及と利用促進を図り、資金繰りの解消を図る。記帳指導を行うことにより、税務申告の仕組み、記帳等を通じて、確定申告の自主作成を指導する。法務・税務・労務は、困難な問題を解決する為専門家に依頼し、小規模事業者の負担軽減し効率的な経営に資する。

成果/地域内小規模事業者の現状として、多くの事業所は資金繰りに困っており、金融において日本政策金融公庫のマル経融資枠の拡大やセーフティネットについても借り易くなり日本政策金融公庫との事前相談を行い、経営者の返済負担を極力抑えるよう取り組んだ。又今後、10月末の小規模資金(経営指導特例)を活用し日本政策金融公庫融資と併せ、資金繰り対策に取り組んでゆきたい。又、労務支援として各種助成金の需給のための要件等についての制度説明や、社会保険・労働保険に関する諸問題について相談を受けた。

| 事業名 | 新規/継続 | 指標 | 目標数値 | 実績数値 | 達成率 | 利用者満足度(点) | 事業評価 |
|------|-------|--------|------|------|--------|-----------|------|
| 金融支援 | 継続 | 斡旋件数 | 32 | 15 | 46.9% | 100.0 | 5 |
| 記帳支援 | 継続 | 支援事業所数 | 10 | 10 | 100.0% | 95.0 | 5 |
| 法務支援 | 継続 | 相談件数 | 3 | 1 | 33.3% | 100.0 | 4 |
| 税務支援 | 継続 | 相談件数 | 3 | 1 | 33.3% | 100.0 | 4 |
| 労務支援 | 継続 | 相談件数 | 12 | 12 | 100.0% | 90.0 | 5 |

専門人材等連携促進事業

支援のポイント・成果

支援ポイント/金融危機の拡大により、中小零細企業は融資が受けにくいので、国、府の融資制度の普及と利用促進を図り、資金繰りの解消を図り、資金繰りの解消を図る為、各種融資制度を紹介し、事業所の資金面におけるキャッシュフローの円滑化を図る。又、労務支援においては、各種助成金制度を紹介することにより、事業主負担の軽減を図り、福利厚生の実現に努め、労働力の確保を図り、事業繁栄につなげたい。

成果/前期では未実施であるが、10月22日には大阪府金融化担当と日本政策金融公庫担当を招聘し、「金融セミナー」を実施予定している。又11月12日には新たな雇入れに関する助成金についてハローワーク担当を招聘し「労務セミナー」を開催する。

| 重点事業 | 事業名 | 新規/継続 | 指標 | 目標数値 | 実績数値 | 達成率 | 利用者満足度(点) | 事業評価 |
|------|----------|-------|------|------|------|------|-----------|------|
| | 労働保険セミナー | 継続 | 参加者数 | 20 | 0 | 0.0% | | |
| | 金融セミナー | 継続 | 参加者数 | 15 | 0 | 0.0% | | |

地域活性化事業

支援のポイント・成果

支援ポイント/商工会による小規模事業者の経営支援はもとより、専門家の招聘や、関係各機関の協力により経営の安定・維持を図る必要がある。今年度は各事業所の支援方法として、ものづくり支援事業をはじめとした各種活性化事業を連携させながら、商品の展示会・イベント実施・新商品の開発・ホームページの充実といった側面からの様々な支援を実施していく。

成果/商業活性化促進事業では、藤まつり・しょうたくんフェスタ2009を開催し、市内事業者等の売上の拡大の機会を創出した。地域力連携拠点事業においては4事業所の経営問題について専門家の助言をいただき、問題の解決に役立った。又、ものづくり支援事業においては、前年と同じ28枠(会場の限界により)であるが、昨年より範囲を広げ、熊取・岬の両商工会からそれぞれ1企業が出展するのをはじめ、新たに10企業が出展することになり、企業間交流がより促進され取引拡大につながると思われる。尚重点事業であった全国展開支援事業は9月より、農商工連携型支援事業に変更し、地域ブランド開発・観光ルート開発に取り組んでいる。

| 重点事業 | 事業名 | 新規/継続 | 指標 | 目標数値 | 実績数値 | 達成率 | 利用者満足度(点) | 事業評価 |
|------|-------------------|-------|-----------|------|------|--------|-----------|------|
| | 商業活性化促進事業 | 継続 | イベント参加企業数 | 10 | 18 | 180.0% | 90.0 | 5 |
| | 求人・求職マッチング事業 | 継続 | 参加企業数 | 20 | 3 | 15.0% | 70.0 | 4 |
| | 地域力連携拠点事業 | 継続 | 相談件数 | 7 | 4 | 57.1% | 95.0 | 5 |
| | その他(ものづくり支援事業) | 継続 | 参加企業数 | 28 | 28 | 100.0% | 90.0 | 5 |
| | その他(農商工連携型支援事業) | 新規 | 試作品アイテム数 | 8 | 0 | 0.0% | 70.0 | 4 |
| | その他(大阪勧業展) | 継続 | 参加企業数 | 4 | 1 | 25.0% | 70.0 | 4 |
| | その他(ザ・ワークフェア2009) | 新規 | 参加企業数 | 2 | 2 | 100.0% | 90.0 | 5 |
| | その他(製造業実態調査事業) | 新規 | サンプル数 | 130 | - | | | |

泉南市商工会

| | | | | | |
|------------------------------|---|------------|-------------|----------|-----|
| 事業名 | 農商工連携型支援事業 | | | | |
| 新規/継続 | 新規 | | | | |
| 想定している実施期間 | 21年(開始) ~ 23年(終了) | | 今年度 1 年目 | | |
| 実施期間全体を通じて予定している事業計画 | <p>当市海岸部一帯を中心とした観光開発・整備を行う。また、その中心にある道の駅的施設「せんなんわくわく広場サザンぴあ」において、水産物・海産物の一次産品はもとより、地産地消として魅力ある二次産品を創出し、市内製造業の製品や特産品を併せて販売する。そのためにイルミネーション、コンサート、写真・料理コンテスト等集客イベントを行う。</p> | | | | |
| 継続事業の場合 | <p>これまでの実施状況と効果・成果</p> | | | | |
| 本事業の対象となる地域の現状や課題 | <p>泉南市においては、平成20年6月に道の駅的施設「せんなんわくわく広場サザンぴあ」をオープンし、地元農産物や商品を販売し、また地元漁港で水揚げされた海産物を使用した食事の提供等をして現在まで黒字経営を維持している。しかしながら野菜中心の農産物の販売が主であり、二次産品等の品揃えが望まれている状況である。又、海岸一帯は非常に景観が良い地域でありながら広告・宣伝等による情報の発信が遅れている状況にある。</p> | | | | |
| 目標に対する実績 | 指標 | 試作品アイテム数 | | | |
| | 目標数値 | 8 | 実績数値 | 0 | 達成率 |
| 目標 | <p>道の駅的施設「せんなんわくわく広場サザンぴあ」を拠点として、地元の製造小売業者・商業者が自社の地域特産品等を泉南ブランドとして、地元だけでなく全国に販売することにより、今後先駆者に追随する事業者も増え、ひいては地域の活性化に繋がることが予想される。売上の増強を図ることが出来、地域経済の活性化が期待される。</p> | | | | |
| 事業を実施した具体的な内容・方法・時期 | <p>商業振興対策委員会内の「地域ブランド開発分科会」、「観光ルート開発分科会」で、泉南市の地域活性化策として農商工型の地域ブランド商品（農産品、水産品を使った加工品）や観光ルート化のコンセプト作りを検討中。今年度の目標達成に向けて議論している。 分科会の委員は、地域の商工業者、地域内の団体（農協、漁協等）、観光ボランティア、泉南市、学識経験者で形成。</p> | | | | |
| マスコミ等に取り上げられた回数 | なし | | | | |
| PR方法とその影響 | <p>商工会役員を始め、農協、漁協、観光ボランティア等の地域の団体にも出向いて本事業の主旨・目的等について理解していただき委員となっていた。 委員からは、かつて無いスピードと緊張感を得られる事業だと感嘆する声もあり、意気も上がっている。</p> | | | | |
| 利用者満足度(点) | 70 | | | | |
| 事業評価 | 4 | | | | |
| 実施した効果 | <p>急ピッチな事業とはいえ、上述したような意見もあり、協力体制は万全である。</p> | | | | |
| 実施した結果浮かび上がった課題および次期以降への取り組み | <p>地域の産品として、たこ、あなご等があるが他地域の名産でもある。大阪ミュージアム構想に登録している細かな観光資源はたくさんあるものの目玉となるもの、伝説やいわれのあるものが無いことがわかった。例えば、泉州水ナスと言われるが泉南水ナスとは言われない。今後どのようにしてストーリー、コンセプトを作って、全国へ販路開拓するかが鍵となる。また観光ルートにおいては、市やボランティアが既に発表しているルートとの組み合わせ、商工業者の取り込みが鍵となる。</p> | | | | |
| 事業全体の収支状況 | 収入(予定) | 支出(実績) | | | |
| | 農商工連携型ビジネス創出支援事業 | | 活動費 | 220,000円 | |
| | 1,400,000円 | | 試作品開発費 | 0円 | |
| | 泉南市補助金 | 1,700,000円 | イベント開催費・広報費 | 0円 | |
| | 泉南市商工会 | 900,000円 | モニュメント・看板 | 0円 | |
| | 小規模補助金 | 920,000円 | 報告書等作成費、事務費 | 0円 | |
| 計 | 4,920,000円 | 計 | 220,000円 | | |